

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～I組

使用教科書：（「化学基礎」（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とそ の変化について理解するとともに、科学的に探究 するとともに必要な観察・実験などに関する基本 的な技能を身に付けるようにする。	物質と化学変化について、事物・現象から問題 を見だし、見通しをもち観察・実験を行い、結 果を分析して解釈し、表現する等、科学的に探究 している。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究 しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<b>A 単元 化学と物質・構成粒子・化学結合</b>  <b>【知識及び技能】</b> 化学と物質・物質の構成粒子・化学結合について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解する能力を養う。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 化学と物質・物質の構成粒子・化学結合について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現する能力を養う。化学と物質・物質の構成粒子・化学結合について、規則性や関係性を見いだして表現する能力を養う。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 化学と物質・物質の構成粒子・化学結合について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現する能力を養う。	<b>指導事項</b> ・混合物から純物質を分離精製する実験などを行い、実験の基本操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 ・元素・単体や化合物について理解する。 ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 ・元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 ・イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることや、イオン結合でできた物質の性質を理解する。 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 ・共有結合でできた物質の性質を理解する。 ・金属結合は自由電子が介在した結合であることを理解する。 ・金属結合でできた物質の性質を理解する。  教材 教科書 問題集 図表 実験操作 プリント 一人1台端末の活用 等	<b>【知識及び技能】</b> 化学と物質・物質の構成粒子・化学結合について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解している。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 化学と物質・物質の構成粒子・化学結合について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。化学と物質・物質の構成粒子・化学結合について、規則性や関係性を見いだして表現している。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 化学と物質・物質の構成粒子・化学結合について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。学習した内容について主体的に定着の努力をしている。	○	○	○	18
			定期考査		○	○
<b>B 単元 物質と化学反応式</b>  <b>【知識及び技能】</b> 物質と化学反応式について、概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する能力を養う。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する能力を養う。	<b>指導事項</b> ・粒子の数にもとづく量の表し方である物質の概念を導入し、物質と質量、物質と気体の体積との関係について理解する。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、化学反応を化学反応式を用いて表すことができる。 ・物質の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付ける。 ・化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成できる。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察することができる。  教材 教科書 問題集 図表 実験操作 プリント 一人1台端末の活用 等	<b>【知識及び技能】</b> 物質と化学反応式について、概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。学習した内容について主体的に定着の努力をしている。	○	○	○	19
			定期考査		○	○

1  
学  
期

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	<p>C 単元 酸と塩基の化学反応</p> <p>【知識及び技能】 酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する操作や記録などの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する能力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 化学反応に、観察・実験を通して主体的に関わり、見通しや振り返りをするなど、科学的に探究しようとする。学習した内容について主体的に定着の努力する能力を養う。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基の定義・分類・価数・強弱について理解し分類できる。</li> <li>水溶液の性質と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付ける。</li> <li>中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解している。</li> <li>中和反応で物質の量的関係を理解し、酸と塩基の量的関係を計算によって求めることができる。</li> <li>中和滴定の実験操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付ける。</li> </ul> <p>また、実験結果に対しての影響を考察できる。</p> <p>教材 教科書 問題集 図表 実験操作 プリント 一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する操作や記録などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 化学反応に、観察・実験を通して主体的に関わり、見通しや振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。学習した内容について主体的に定着の努力をしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>D 単元 酸化還元反応</p> <p>【知識及び技能】 酸化と還元概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する能力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 化学反応に、観察・実験を通して主体的に関わり、見通しや振り返りをするなど、科学的に探究しようとする。学習した内容について主体的に定着の努力をする能力を養う。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化還元反応が電子の授受によることを理解し、酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができる。</li> <li>酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができ、量的関係を理解している。</li> <li>金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に付けている。</li> <li>電池や電気分解の実験を通して、酸化・還元定義と、事物・現象の中に共通性を見出し、論理的に考察できる。</li> </ul> <p>教材 教科書 問題集 図表 実験操作 プリント 一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 酸化と還元概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 化学反応に、観察・実験を通して主体的に関わり、見通しや振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。学習した内容について主体的に定着の努力をしている。</p>	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>E 単元 化学反応におけるエネルギー・物質の三態</p> <p>【知識及び技能】 化学反応に伴うエネルギー、気体の概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する操作や記録などの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する能力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 化学反応に、観察・実験を通して主体的に関わり、見通しや振り返りをするなど、科学的に探究しようとする。学習した内容について主体的に定着の努力する能力を養う。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸化還元反応により電気エネルギーを取り出す方法を理解する。</li> <li>電気エネルギーを用いて電気分解を行う方法を理解する。</li> <li>電気分解の実験を通し、電流量と反応物質の量的関係について探究し、考察する。</li> <li>化学反応に伴う熱エネルギーの発生吸収がおこる理由を理解する。</li> <li>観察実験から反応熱の熱量について、化学反応がおこる理由について理解する。</li> <li>粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。</li> <li>気体の性質を理解し、絶対温度について理解する。</li> </ul> <p>教材 教科書 問題集 図表 実験操作 プリント 一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 化学反応に伴うエネルギー、気体の概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する操作や記録などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 化学反応に、観察・実験を通して主体的に関わり、見通しや振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。学習した内容について主体的に定着の努力をしている。</p>	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 B組、D組～E組

使用教科書：（「物理基礎」（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理や物理現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。	物理や物理現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活や社会との関連を図りながら物理や物理現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 運動の表し方 【知識及び技能】 運動の表し方について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について、さまざまな運動のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方について、さまざまな運動のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・物理量の表し方 ・速さと速度 ・速度の合成と相対速度 ・等速直線運動 ・加速度 ・等加速度直線運動 ・落体の運動 ・水平投射と斜方投射 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 運動の表し方について、基本的な概念や定義などを理解している。 【思考・判断・表現】 運動の表し方について、さまざまな運動のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の表し方について、さまざまな運動のようすを理解しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	B 単元 運動の法則 【知識及び技能】 運動の法則について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則に関するさまざまな運動のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の法則で取り扱うさまざまな運動のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・いろいろな力 ・力の合成と分解 ・運動の法則 ・運動方程式 ・圧力と浮力 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 運動の法則について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 運動の法則に関するさまざまな運動のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の法則で取り扱うさまざまな運動のようすを理解しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 単元 剛体 【知識及び技能】 剛体について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 剛体に関するさまざまな運動のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 剛体で取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・力のモーメント ・剛体のつりあい ・重心 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 剛体について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 剛体に関するさまざまな運動のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 剛体で取り扱うさまざまな運動のようすを理解しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	D 単元 仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 仕事と力学的エネルギーについて、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 仕事と力学的エネルギーが影響を与えるさまざまな運動のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 仕事と力学的エネルギーで取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・仕事 ・運動エネルギーと仕事 ・位置エネルギー ・力学的エネルギー保存 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 仕事と力学的エネルギーについて、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 仕事と力学的エネルギーが影響を与えるさまざまな運動のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕事と力学的エネルギーで取り扱うさまざまな運動のようすを理解しようとしている。	○	○	○	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	E 単元 熱 【知識及び技能】 熱について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 熱が影響を与えるさまざまな現象のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 熱で取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・熱と物質の状態 ・熱量の保存 ・熱膨張 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 熱について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 熱が影響を与えるさまざまな現象のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱で取り扱うさまざまな現象のようすを理解しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	F 単元 波の性質 【知識及び技能】 波の性質について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 波の性質が影響を与えるさまざまな現象のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 波の性質で取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・波の表し方 ・波の反射・屈折・回折 ・重ね合わせの原理と定常波 ・固定端反射と自由端反射 ・干渉 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 波の性質について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 波の性質に関係するさまざまな現象のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 波の性質で取り扱うさまざまな現象のようすを理解しようとしている。	○	○	○	10
	G 単元 音 【知識及び技能】 音について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 音が影響を与えるさまざまな現象のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 音で取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・音の性質とうなり ・音の反射・屈折・回折 ・弦の振動 ・気柱の共鳴 ・ドップラー効果 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 音について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 音に関係するさまざまな現象のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 音で取り扱うさまざまな現象のようすを理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
H 単元 光 【知識及び技能】 光について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 光が影響を与えるさまざまな現象のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 光で取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・光の性質 ・光の反射・屈折・回折 ・光の干渉 ・レンズと鏡 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 光について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 光に関係するさまざまな現象のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 光で取り扱うさまざまな現象のようすを理解しようとしている。	○	○	○	12	
3 学 期	H 単元 電気 【知識及び技能】 電気について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 電気が影響を与えるさまざまな現象のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 電気で取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・電気の性質 ・電流と電気抵抗 ・電気とエネルギー ・電流と磁場 ・交流と電磁波 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 電気について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 電気に関係するさまざまな現象のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電気で取り扱うさまざまな現象のようすを理解しようとしている。	○	○	○	6
	I 単元 物理学と社会 【知識・技能】 物理学と社会について、基本的なことを理解している。 【思考・判断・表現】 物理学と社会について、基本的なことを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理学と社会について、基本的なことを理解しようとしている。	【指導事項】 ・エネルギーの移り変わり ・エネルギー資源と発電 ・物理学が拓く世界 【教材】 教科書・副教材 【一人1台端末の活用】 one noteを活用し、ノートの代わりとして利用	【知識・技能】 物理学と社会について、基本的なことを理解している。 【思考・判断・表現】 物理学と社会について、基本的なことを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理学と社会について、基本的なことを理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～I組

使用教科書：（「物理基礎」（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理や物理現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。	物理や物理現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活や社会との関連を図りながら物理や物理現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 運動の表し方 【知識及び技能】 運動の表し方について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について、さまざまな運動のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方について、さまざまな運動のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・物理量の表し方 ・速さと速度 ・速度の合成と相対速度 ・等速直線運動 ・加速度 ・等加速度直線運動 ・落体の運動 【教材】 教科書・副教材	【知識・技能】 運動の表し方について、基本的な概念や定義などを理解している。 【思考・判断・表現】 運動の表し方について、さまざまな運動のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の表し方について、さまざまな運動のようすを理解しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	B 単元 運動の法則 【知識及び技能】 運動の法則について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則に関するさまざまな運動のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の法則で取り扱うさまざまな運動のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・いろいろな力 ・力の合成と分解 ・運動の法則 ・運動方程式 ・圧力と浮力 【教材】 教科書・副教材	【知識・技能】 運動の法則について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 運動の法則に関するさまざまな運動のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の法則で取り扱うさまざまな運動のようすを理解しようとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	
2 学 期	D 単元 仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 仕事と力学的エネルギーについて、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 仕事と力学的エネルギーが影響を与えるさまざまな運動のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 仕事と力学的エネルギーで取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・仕事 ・運動エネルギーと仕事 ・位置エネルギー ・力学的エネルギー保存 【教材】 教科書・副教材	【知識・技能】 仕事と力学的エネルギーについて、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 仕事と力学的エネルギーが影響を与えるさまざまな運動のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕事と力学的エネルギーで取り扱うさまざまな運動のようすを理解しようとしている。	○	○	○	10
	E 単元 熱 【知識及び技能】 熱について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 熱が影響を与えるさまざまな現象のようすを説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 熱で取り扱うさまざまな物体のようすを体系的に分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・熱と物質の状態 ・熱量の保存 ・熱膨張 【教材】 教科書・副教材	【知識・技能】 熱について、基本的な概念や定義・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 熱が影響を与えるさまざまな現象のようすを説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱で取り扱うさまざまな現象のようすを理解しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～I組

使用教科書：（「高等学校 生物基礎」（啓林館））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1節 生物の共通性と多様性 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し、細胞および生物の構造について学ぶ。 ・教材 教科書、二訂版ニューステージ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる 【思考・判断・表現】生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。	○	○	○	8
	B 単元 第2節 生物とエネルギー 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 生物の活動に必要なエネルギーの出入りと、生物に必要な物質の合成や分解について学ぶ。 ・教材 教科書、二訂版ニューステージ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している 【思考・判断・表現】呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	C 単元 第1節 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 遺伝情報をに成る物質としてのDNAの特徴について理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニューステージ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 【思考・判断・表現】DNAの性質や構造を科学的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。	○	○	○	10
	D 単元 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニューステージ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 【思考・判断・表現】DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学 期	E 単元 第1節 情報の伝達 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 体内環境の恒常性が保たれているしくみを理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニューステージ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】ホルモンの分泌により血糖量が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足により発症する疾患についての知識を得ている 【思考・判断・表現】体液の塩類濃度の調節や血糖量、体温の調節が、ホルモンや自律神経により調節されていることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】ホルモンの分泌や自律神経により血糖量が保たれており、ホルモンの分泌不足により発症する疾患について調べようとする。				12





高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 B組、D組～E組

使用教科書：（「高等学校 生物基礎」（啓林館））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1節 生物の共通性と多様性 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し、細胞および生物の構造について学ぶ。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる 【思考・判断・表現】生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。	○	○	○	5
	B 単元 第2節 生物とエネルギー 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 生物の活動に必要なエネルギーの出入りと、生物に必要な物質の合成や分解について学ぶ。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している 【思考・判断・表現】呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 単元 第1節 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 遺伝情報をに成る物質としてのDNAの特徴について理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 【思考・判断・表現】DNAの性質や構造を科学的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。	○	○	○	6
	D 単元 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 【思考・判断・表現】DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
2 学 期	E 単元 第1節 情報の伝達 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 体内環境の恒常性が保たれているしくみを理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】ホルモンの分泌により血糖量が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足により発症する疾患についての知識を得ている 【思考・判断・表現】体液の塩類濃度の調節や血糖量、体温の調節が、ホルモンや自律神経により調節されていることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】ホルモンの分泌や自律神経により血糖量が保たれており、ホルモンの分泌不足により発症する疾患について調べようとする。				8

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	F 単元 第2節 体内環境の維持のしくみ 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】体内環境が一定の範囲に保たれることを理解している。 【思考・判断・表現】体液の塩類濃度の調節や血糖量、体温の調節が、ホルモンや自律神経により調節されていることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】ホルモンの分泌や自律神経により血糖量が保たれており、ホルモンの分泌不足により発症する疾患について調べようとする。				8
	定期考査			○	○		1
	G 単元 第1節 免疫の働き 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 免疫とそれにかかわる物質や細胞の働きについて理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 【思考・判断・表現】病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。		○	○	○
定期考査			○	○		1	
3 学 期	H 単元 第1節 植生と遷移 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 【思考・判断・表現】植生が、光環境や植物の光に対する特性、土壌の発達段階に影響を受けることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上には様々な植生がみられ、それらは不変ではなく、長期的には移り変わっていくことを理解しようとする。				6
	I 単元 第1節 生態系と生物の多様性 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 生態系のバランスについての理解と生態系保全の重要性を認識する。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】地球上には、気温や降水量ごとに様々なバイオームが成立していることを理解している。 【思考・判断・表現】バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているため、異なるバイオームが成立することを考察し、それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】地球上には様々なバイオームが成立していることを理解しようとする。	○	○	○	7
	J 単元 第2節 生態系のバランスと保全 【知識及び技能】生物の基本的な知識、技能を学び身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から適切に内容を理解し、他者に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自己の学びを振り返り、自らの変容を認知し、粘り強く学びに取り組んでいくことができる。	・指導事項 生態系のバランスについての理解と生態系保全の重要性を認識する。 ・教材 教科書、二訂版ニュースページ生物図表、新課程生物基礎学習ノート、セミナー生物基礎＋生物、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 【思考・判断・表現】生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】生態系のバランスや、生態系の保全が重要であることを理解しようとする。		○	○	
定期考査			○	○		1	
							合計
							70

# 東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：理科 科 目：物理 単位数：6単位

対象学年組：第3学年G組～I組

使用教科書	「改訂 物理」(東京書籍)
使用教材等	「セミナー物理基礎+物理」 「進研WINSTEP物理」 「バックV物理」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	円運動 単振動	<ul style="list-style-type: none"> <li>円運動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力等について理解させる。</li> <li>万有引力の法則及び万有引力による物体の運動について理解させる。</li> </ul>	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	18
5月	運動量 気体分子の運動と圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>物体の衝突や分裂等の現象を扱う方法を理解する。</li> <li>気体分子の運動と圧力の関係を理解させる。</li> <li>気体分子の圧力と熱運動を理解させる。</li> </ul>	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	24
6月	気体の状態変化 電場と電位 電流	<ul style="list-style-type: none"> <li>気体の内部エネルギーについて、熱力学の第1法則に関連付けて理解させる。</li> <li>気体の状態変化における熱、仕事及び内部エネルギーの関係を理解させる。</li> <li>静電気の種類と性質について理解させる。</li> <li>クーロンの法則と電界について理解させる。</li> <li>電界と電位の関係を理解させる。</li> <li>コンデンサーの性質を理解させる。</li> </ul>	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	24
7月	電流	<ul style="list-style-type: none"> <li>直流回路の性質を理解させる。</li> <li>半導体の性質とその利用を理解させる。</li> </ul>	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	12
8月	電流と磁場	<ul style="list-style-type: none"> <li>クーロンの法則と磁界と磁力線を理解させる。</li> <li>電流が磁界から受ける力を理解させる。</li> </ul>	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	18
9月	電流と磁場 電磁誘導と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> <li>電磁誘導とその法則について理解させる。</li> <li>ローレンツ力と誘導起電力、電磁誘導とエネルギーの保存について理解させる。</li> <li>自己誘導とコイルの性質について理解させる。</li> <li>電気振動と電磁波の性質について理解させる。</li> <li>電子の電荷と質量について理解させる。</li> </ul>	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	
10月	電子と光 原子と原子核	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子の電荷と質量について理解させる。</li> <li>光の粒子性について理解させる。</li> <li>X線の性質について理解させる。</li> <li>光の波動性について理解させる。</li> <li>原子核と崩壊、放射線の関係を理解させる。</li> </ul>	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	24
11月	総合問題演習	総合問題演習	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	24
12月	総合問題演習	総合問題演習	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	12
1月	総合問題演習	総合問題演習	授業の発問、実験や演習に積極的に参加しているか。物理現象を論理的に考察することができるか。課題の提出状況、授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	18
2月				
3月				

# 東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：理科 科 目：化学 単位数：6単位

対象学年組：第3学年G組～I組

使用教科書	「改訂 化学」(東京書籍)
使用教材等	「リードα 化学基礎 化学」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第5編 有機化合物 第1章 有機化合物の特徴と構造	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	18
5月	第5編 有機化合物 第2章 炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	24
6月	第5編 有機化合物 第4章 芳香族化合物 第5章 有機化合物と人間生活	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	24
7月	第6編 高分子化合物 第1章 天然高分子化合物	高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	12
8月	第6編 高分子化合物 第2章 合成高分子化合物 第3章 高分子化合物と人間生活	高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	18
9月	第1編 物質の構造 第3章 溶液の性質 第4章 固体の構造	気体・液体・固体の性質を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡及び溶液の性質について理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	
10月	第2編 化学反応とエネルギー 第1章 化学反応と熱・光電池と電気分解	化学反応に伴うエネルギーの出入り、反応速度及び化学平衡を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡及び溶液の性質について理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	24
11月	第3編 化学反応の速さと平衡 第1章 化学反応の速さ 第2章 化学平衡 第3章 水溶液中の化学平衡	化学反応に伴うエネルギーの出入り、反応速度及び化学平衡を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡及び溶液の性質について理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	24
12月	第4編 無機化学	無機物質の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	12
1月	総合演習	問題演習により基本事項を確認しながら、大学共通テスト形式・私立大学個別入試形式・国公立大学二次試験形式の演習問題で応用力をつける。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	18
2月				
3月				

# 東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 6単位

対象学年組： 第3学年G組～I組

使用教科書	「改訂 生物」 (東京書籍)
使用教材等	「四訂版リードα生物」 「WINSTEP生物」 「ニューステージ生物図表」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	生命現象と物質 ・生体物質と細胞 ・タンパク質と酵素 ・様々なタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体を構成する物質の種類を理解させる。</li> <li>・細胞膜の構造と物質の透過のしくみを理解させる。</li> <li>・タンパク質の構造と酵素の性質を理解させる。</li> <li>・細胞間の相互作用に関わるタンパク質とその役割を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	18
5月	生命現象と物質 ・呼吸、発酵、腐敗 ・光合成、化学合成 ・窒素同化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸の過程とATPが生成される仕組みについて理解させる。</li> <li>・発酵や腐敗を行う生物やATP生成のしくみ、人間との関連を理解させる。</li> <li>・光合成や化学合成での炭酸同化のしくみを理解させる。</li> <li>・窒素同化によりどのようなして窒素が有機物に取り込まれるのか理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	24
6月	遺伝子のはたらき ・DNAの構造と複製 ・遺伝情報の発現 ・遺伝子の発現調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二重らせん構造におけるヌクレオチド鎖の方向性について理解させる。</li> <li>・岡崎フラグメントを含めDNAの複製のしくみを理解させる。</li> <li>・セントラルドグマによるDNAからタンパク質合成までの流れを理解させる。</li> <li>・オペロン説、真核細胞の遺伝子発現調節のしくみを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	24
7月	遺伝子のはたらき ・バイオテクノロジー 生殖と発生 ・有性生殖	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝子組換え技術の目的を理解させる。</li> <li>・制限酵素の特徴、PCR法、電気泳動法の原理を理解させる。</li> <li>・生物の生殖法にはどのようなものがあるか理解させる。</li> <li>・減数分裂のしくみを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	12
8月	生殖と発生 ・遺伝子の連鎖と組換え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減数分裂時に遺伝子の組合せが変化することがあることを理解させる。</li> <li>・遺伝子の独立と連鎖を理解させる。</li> <li>・遺伝子の組換えが起こった場合の遺伝結果を理解させる。</li> <li>・組換え価の計算を正しく行えるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	18
9月	生殖と発生 ・動物と植物の発生 生物の環境応答 ・神経	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトやウニなどの生物を中心に動物の配偶子形成や受精の過程を理解させる。</li> <li>・発生において、胚に起こる様々な現象に関わる物質と関連付けて理解させる。</li> <li>・植物の重複受精、ABCモデルによる遺伝子の発現調節を理解させる。</li> <li>・神経細胞の構造と活動電位の発生、興奮の伝導・伝達を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
10月	生物の環境応答 ・受容器と効果器 ・動物の行動 ・植物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各受容器の構造や、様々な感覚が生じるしくみを理解させる。</li> <li>・筋収縮のしくみを理解させる。</li> <li>・動物の行動の分類と具体例を理解させる。</li> <li>・植物ホルモンのはたらき、植物の一生に関わる刺激と反応の例を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	24
11月	生態と環境 ・個体群と生物群集 ・物質生産 ・生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同種生物の間に生じる関係について具体例を用いて理解させる。</li> <li>・異種生物の間に生じる関係について具体例を用いて理解させる。</li> <li>・生態系での物質生産とその後のエネルギーの流れを理解させる。</li> <li>・生物多様性の詳細と生物多様性を減少させる要因について理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	24
12月	生物の進化と分類 ・生命の起源と進化 ・進化のしくみ ・生物の系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原始の地球上でどのようにして最初の生物が発生したのか想像させる。</li> <li>・化石をもとにした生物の進化の道筋を理解させる。</li> <li>・進化の流れを解明する説にはどのようなものがあるか紹介する。</li> <li>・進化の道筋に基づいた生物の分類にはどのようなものがあるか理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	12
1月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間のおまとめとして、大学共通テスト対応の問題演習を実施する。</li> <li>・国公立大学二次試験に対応する問題演習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に授業や実験に取り組んでいるか</li> <li>・課題プリント、実験プリント</li> <li>・小テスト</li> </ul>	18
2月				
3月				

# 東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：理科 科 目：物理演習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年G組～I組

使用教科書	
使用教材等	「良問の風 物理 頻出・標準入試問題集」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	波動	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	6
5月	波動・力学	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	8
6月	力学	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	8
7月	力学	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	4
8月				6
9月	電磁気	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	
10月	電磁気	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	8
11月	原子	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	8
12月	総合問題	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	4
1月	総合問題	難関大学受験に対応できるように、記述式問題に取り組むことができる。	小テスト・課題で総合的に判断する。	6
2月				
3月				

# 東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：理科 科 目：化学基礎演習（化学基礎） 単位数：2単位  
 対象学年組：第3学年A組、D組、F組～I組

使用教科書	「改訂 化学基礎」（東京書籍）
使用教材等	「六訂版 リードα化学基礎+化学」「大学入試共通テスト攻略問題集 ビーライン化学基礎」「改訂 化学基礎 補充資料」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	物質の構成 原子の構造と周期表	純物質と混合物・化合物と元素・物質の三態・原子の構造・元素の周期律と元素の性質について標準的な入試問題の解法を説明し、理解できるように指導する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	6
5月	化学結合 物質と濃度	イオン結合・共有結合・金属結合・分子間力・物質と濃度について標準的な入試問題の解法を説明し、理解できるように指導する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	8
6月	物質と化学反応式 酸と塩基	化学反応式と量的関係・酸と塩基・水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定について標準的な入試問題の解法を説明し、理解できるように指導する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	8
7月	酸と塩基の化学反応	水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定について標準的な入試問題の解法を説明し、理解できるように指導する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	4
8月	酸と塩基の化学反応	滴定曲線・二段階滴定について標準的な入試問題の解法を説明し、理解できるように指導する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	6
9月	酸化還元反応	酸化還元・酸化剤と還元剤・金属の酸化還元反応・電池について標準的な入試問題の解法を説明し、理解できるように指導する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	
10月	酸化還元反応	電池・電気分解について標準的な入試問題の解法を説明し、理解できるように指導する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	8
11月	大学共通テスト試験化学基礎対策演習	問題演習により基本事項を確認しながら、大学共通テスト形式の演習問題で応用力をつける。	課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	8
12月	大学共通テスト試験化学基礎対策演習	問題演習により基本事項を確認しながら、大学共通テスト形式の演習問題で応用力をつける。	課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する。	4
1月	大学共通テスト試験化学基礎対策演習	問題演習により基本事項を確認しながら、大学共通テスト形式の演習問題で応用力をつける。	課題の提出状況・授業の取組状況を総合的に判断する。	6
2月				
3月				

# 東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：理科 科 目：化学（自由選択科目） 単位数：4単位

対象学年組：第3学年D組、G組～I組

使用教科書	「改訂 化学」（東京書籍）
使用教材等	「リードα 化学基礎 化学」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第5編 有機化合物 第1章 有機化合物の特徴と構造	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	12
5月	第5編 有機化合物 第2章 炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	16
6月	第5編 有機化合物 第4章 芳香族化合物 第5章 有機化合物と人間生活	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	16
7月	第6編 高分子化合物 第1章 天然高分子化合物	高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	8
8月	第6編 高分子化合物 第2章 合成高分子化合物 第3章 高分子化合物と人間生活	高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	12
9月	第1編 物質の構造 第3章 溶液の性質 第4章 固体の構造	気体・液体・固体の性質を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡及び溶液の性質について理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	16
10月	第2編 化学反応とエネルギー 第1章 化学反応と熱・光 第2章 電池と電気分解	化学反応に伴うエネルギーの出入り、反応速度及び化学平衡を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡及び溶液の性質について理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	16
11月	第3編 化学反応の速さと平衡 第1章 化学反応の速さ 第2章 化学平衡 第3章 水溶液中の化学平衡	化学反応に伴うエネルギーの出入り、反応速度及び化学平衡を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡及び溶液の性質について理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	16
12月	第4編 無機化学	無機物質の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況、定期考査を総合的に判断する	8
1月	総合演習	問題演習により基本事項を確認しながら、大学共通テスト形式・私立大学個別入試形式・国公立大学二次試験形式の演習問題で応用力をつける。	小テスト・実験レポート、課題の提出状況・授業の取組状況を総合的に判断する	12
2月				
3月				



# 東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：理科

科 目：生物基礎演習（生物基礎）

単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組、D組、F組、G組、I組

使用教科書	「改訂 生物基礎」（東京書籍）
使用教材等	「新編センサー生物基礎三訂版」「ニューステージ生物図表」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・顕微鏡の使い方 ・生物の多様性と共通性 ・ATP	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	6
5月	・酵素の性質 ・光合成と呼吸 ・細胞内共生説	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	8
6月	・遺伝子の本体DNA ・体細胞分裂 ・セントラルドグマ	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	8
7月	・実践問題	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	4
8月	・体液 ・心臓と体液の循環	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	6
9月	・肝臓、腎臓のはたらき ・自律神経系 ・内分泌系	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	
10月	・血糖値の調節 ・生体防御と免疫 ・免疫とヒト	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	8
11月	・植生と遷移 ・バイオーム ・物質の循環	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	8
12月	・生態系とその保全	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・単元テスト	4
1月	・総合問題	・2学年で学習した内容の定着度を確認する。 ・入試問題を中心に問題演習を行い、大学共通テストに向けた知識量、問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント	6
2月				
3月				

# 東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：理科 科 目：生物演習（生物基礎） 単位数：2単位

対象学年組：第3学年G組～I組

使用教科書	「改訂 生物基礎」（東京書籍）
使用教材等	「改訂 生物」「ニューステージ生物図表」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	体内環境とその維持	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	6
5月	体内環境とその維持 免疫	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	8
6月	植生とバイオーム 生態系とその保全	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	8
7月	生命現象と物質	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	4
8月	生命現象と物質	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	6
9月	遺伝子のはたらき	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	
10月	生殖と発生 生物の環境応答	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	8
11月	生物の環境応答 生態と環境	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	8
12月	生態と環境	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	4
1月	総合問題	・入試問題を中心に問題演習を行い、大学入試に向けた知識量、記述問題解答能力の向上を図る。 ・授業を通し生命活動を理解する。	・真剣に授業に取り組んでいるか ・課題プリント ・小テスト	6
2月				
3月				